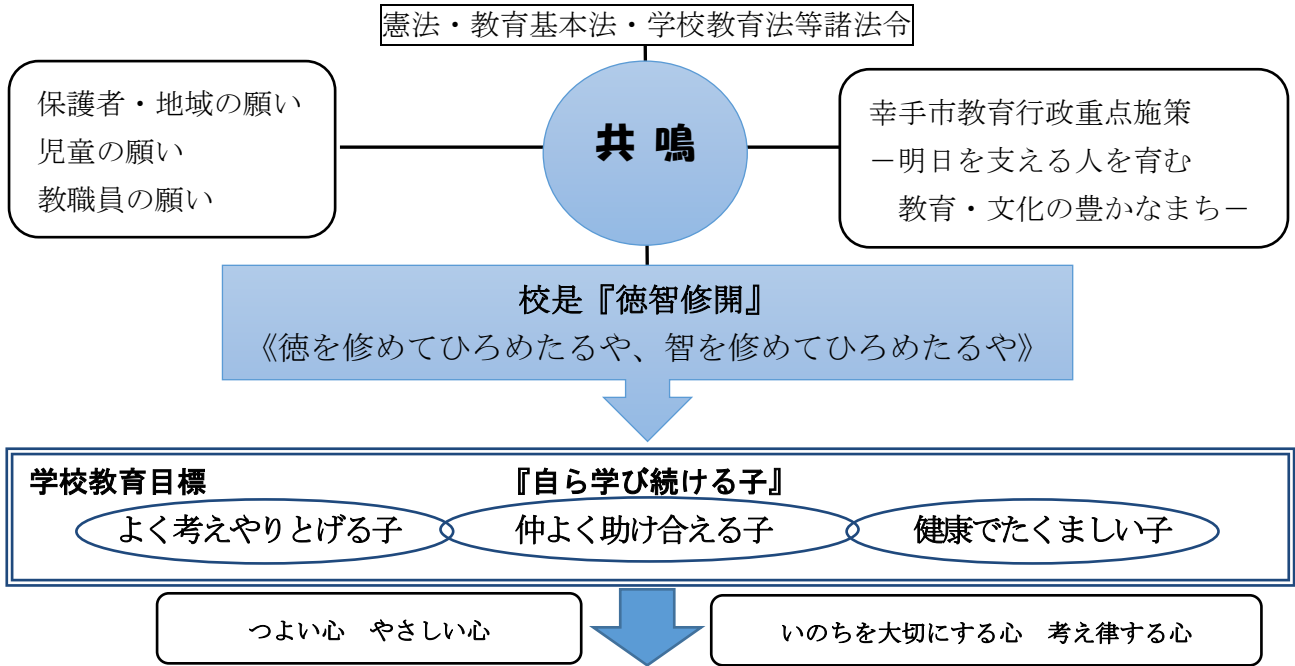
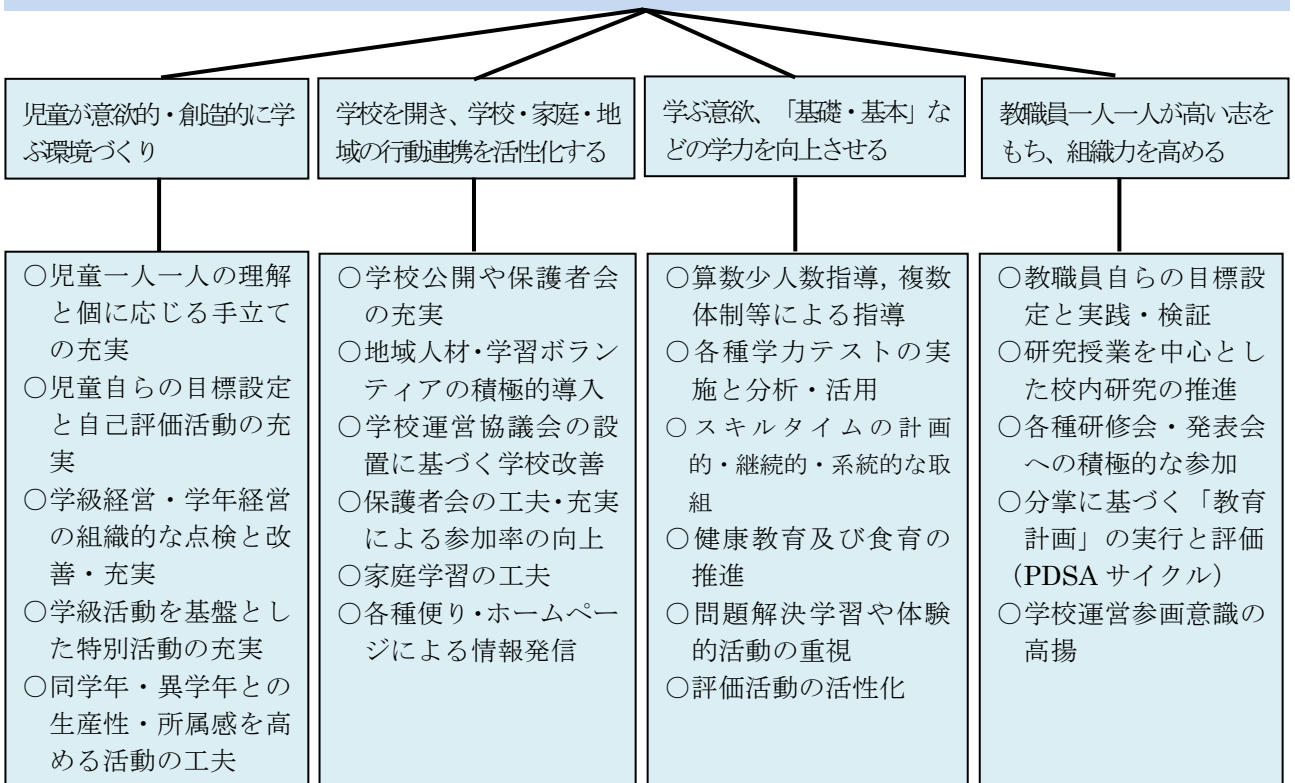


1 学校教育目標



◆目指す学校の具体像◆

- 1 児童一人一人がよさを発揮し、意欲的、創造的に活動する学校
- 2 生涯にわたって学び続けるために必要な意欲や学び方、基礎的な知識・理解など、生涯学習の基礎・基本を確実に身につけられる、授業が充実した学校
- 3 家庭・地域社会との相互理解・協力を図り、学校の役割をよりよく果たして家庭・地域の負託に応える開かれた学校
- 4 教職員がそれぞれにワークライフバランスを考えながら教育活動の充実のために指導力を磨き、一致協力して組織的に教育活動を展開できる学校



2 学校経営計画

平成31年度・令和元年度

『共鳴（教鳴）』～子供を核に学校・家庭・地域が共鳴し合う誇り高き学校～

(1) 学校経営の基本理念 【本年度のテーマ：共鳴】

「共鳴し合い、誇りをもった児童を育成する教育」を目指し、

- ① 児童一人一人の個性・特性の伸長を図る活動の充実を第一義とする。
「はじめに子ども在りき」
- ② 生涯にわたって学び続けるための資質・能力を確実に身につけさせる。
- ③ 「地域の学校」という公立学校の特徴を最大限に生かす。
- ④ 学校の組織的実践力（「学校力」）を向上させる。

(2) 目指す教師像「子どもを伸ばす熱意あふれる教師」（教鳴）

- ① 児童の心に火をともし、光り輝かせ続ける教師（モチベーションとエネルギー）
- ② 「子供のための教育」で一致できる、常に愛情をもって児童と関わり、認め、励ます教師
(教職員の輪)
- ③ 一人一人が持ち味を発揮し、組織の一員としての自覚と誇りを持ち、意欲的に協働できる教師
(チーム力)
- ④ 児童一人一人の成長を促す魅力ある授業を実現するため、研究と修養に努め、常に資質の向上に努める教師
(向上心)

(3) 目指す授業像「生涯に渡り学び続ける資質と能力を身につけさせる授業」

- ① 児童一人一人が「学びがい」を実感する授業
- ② 自ら課題を設定し、自ら考え、判断する能力や態度を身につけさせる授業
- ③ 基礎的・基本的な内容を定着させる授業とそれを補完する取組
- ④ 児童一人一人の学習状況に応じた指導を工夫する授業
- ⑤ 体験したことを自らの内面で経験に変え、その経験を振り返ることで学びに変える授業

3 本年度の重点・努力点

(1) 生きる力を育む読書活動の推進

- ① 確かな学力・豊かな心・健康、体力を育成するための土台として、読書活動を位置づけ、全教育活動で推進する。
- ② 「家読」を「家庭の日」（毎月第3日曜日）を含めた週に実施する。

(2) 授業の充実と学力の向上

- ① 児童が目的意識をもって問題解決する学習過程を重視する。
- ② 一人一人が自分の考えを持ち、交流し合い学び合う教材や活動の工夫をする。（思考ツールの活用）
- ③ 読解力・表現力を高める指導の工夫をする。
- ④ 一人一人の学習状況を把握する教員のスキル（見取る力）を高める。

(3) 豊かな心をはぐくむ教育活動

- ① 認め合い、助け合う人間関係（支持的風土）を育てるとともに豊かな心を育てる。
- ② 基本的な生活習慣を育成する。（あいさつ、返事、かかと揃え）
- ③ 全教育活動で道徳教育・人権教育を推進する。（温かい人間関係づくり）
- ④ 自主性・自律心の涵養を図る。（気づき・考え・行動する）

⑤ 感動する心を育てる体験活動を工夫する。(地域の教育力の活用)

(4) たくましく生き抜く健康、気力・体力の育成

① 自分から進んで運動に取り組む態度と健康な生活を営む態度を育てる。

② 体育の授業の充実、業前運動等の工夫により、運動好きな児童を育成する。

③ 「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活の実践力を育成する。

(5) 家庭・地域と歩む学校づくり

① 学校、家庭、地域が共鳴し合い(相互補完・相互連携)子どもを育てる学校づくりを行う。

② 地域に人材や教材を求め、地域の教育力を活用した教育を推進する。

③ コミュニティ・スクールの実施を推進する。